

住友ゴムグループは、常に新しい価値創造へ挑戦し、積極的に研究開発活動を行っています。また、研究開発の成果を知的財産として適切に保護し、その活用を図るための体制を構築しています。

研究開発活動

住友ゴムグループは、世界各地に所在する子会社・関連会社群との密接な連携のもと、タイヤ、スポーツ、産業品その他事業など、幅広い領域・分野で研究開発を推進しています。特にタイヤ事業においては、1999年以降、グッドイヤー社との世界的な提携にもとづく技術交流を実施し、テーマ別にプロジェクトチームを編成して共同調査研究を行っています。また、2003年7月1日には研究開発機能を分社化し、SRI研究開発(株)を設立しています。

当期の研究開発費の総額は172億91百万円で、連結売上高に占める比率は3.2%でした。

タイヤ事業

タイヤ事業では、タイヤ内部の空気をデジタルで解析した空気圧力振動シミュレーション「デジタルDRS III」を採用し、空洞共鳴音を低減する「特殊吸音スポンジ」を搭載した、ダンロップの高級車向けプレミアムコンフォートタイヤ「VEURO (ビューロ) VE302」を2007年2月に発売するなど、独自技術を生かして付加価値の高い商品開発を行っています。当期のタイヤ事業に係る研究開発費は142億15百万円でした。

スポーツ事業

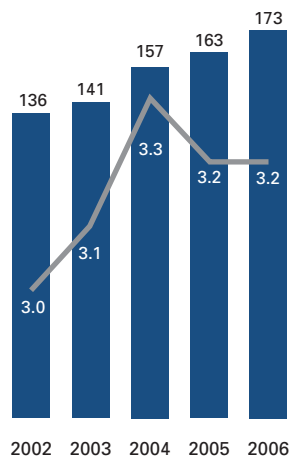
スポーツ事業では、スーパーコンピューターによる独自のシミュレーション技術「デジタル・インパクト・テクノロジー」をさらに高度化するとともに、製品開発における当該技術の活用範囲を広げ、ゴルフクラブ、ゴルフボールを中心として、高機能商品の開発に注力しています。当期のスポーツ事業に係る研究開発費は13億91百万円でした。

産業品その他事業

産業品その他事業では、OA機器用精密ゴム部品・印刷用ブランケット・人工芝・ゴム手袋ならびに医療用ゴム事業等の拡充を図り、消費者

研究開発費

— 研究開発費比率(%) (億円)



ニーズに合わせた商品開発に積極的に取り組んでいます。当期の産業品その他事業に係る研究開発費は16億84百万円でした。

知的財産戦略

住友ゴムグループでは、各事業の支援のための知的財産活動を行っています。具体的には、産業財産権、すなわち、特許、意匠、商標を中心とした権利の取得、その権利の活用、および他社権利侵害の防止です。

BRICs、ASEAN等への知的財産業務の拡大

これまで、日本・アメリカ・ヨーロッパが、権利取得をはじめとする知的財産業務の中心でした。しかし、住友ゴムグループ長期ビジョン実現に向けて、住友ゴムグループの知的財産権業務は、日米欧中心から、「日米欧+BRICs+ASEAN」に拡大しました。例えば、昨年の特許出願件数は、日本よりも海外のほうが多くなっており、特に中国への特許出願・意匠登録出願は欧米並みになり、さらにインドネシア・タイ・韓国が続いています。

海外への特許出願の件数増加とともに、対象地域も拡大します。具体的には、ロシア・インド・ブラジル・ベトナム・中近東へ拡大する予定です。2010年には、海外各国への特許出願の合計は、日本出願の1.8倍になる見込みです。

また、当社タイヤの模倣品も散見されるようになり、これらの一部は日本市場へ流入し始めています。日本では税関での輸入停止措置をとりました。生産国では、権利行使を前提とした調査を行っています。

各国における法律・特許事務所との関係強化

海外における知的財産業務にとって、国ごとに法制度が異なるため、各国における代理人(弁護士・弁理士)との意思の疎通が重要です。上記のように知的財産業務を拡大していくためには、信頼できる代理人・特許事務所や知財専門の法律事務所の一発見と選定、そして、コミュニケーション強化が必要です。2006年には、これまで確定していなかったロシア・インド・韓国・タイの事務所を選定し、他の国の事務所を含めたネットワークの強化に努めました。2007年度はさらに、南米・ベトナムへもネットワークを拡大し、2010年までの知的財産業務の拡大に対応します。

特許情報の有効活用

住友ゴムグループの特許を維持管理するため、各権利のデータをデータベース化し、特許管理システムで管理しています。これらのデータは権利維持のための管理情報であると同時に、技術情報でもあるので、各開発部門に開放して、技術開発支援としての活用を図っています。

また、他社の特許情報は、他社の技術動向を把握する上でも、自社製品が他社権利を侵害することを防止する上でも重要な情報ですので、毎週、各技術部門に必要な分野の特許情報を配信しています。これまで、この情報は、海外の工場・子会社で見ることが困難でしたが、2007年4月からは、インターネット環境が整っている全ての住友ゴムグループ会社からアクセス可能になりました。